

平成24年度 病害虫発生予察情報 予報第8号

平成24年8月10日
広島県東部農業技術指導所

1 発生予察情報

(1) 水稲 (8月上旬調査)

- 平成24年8月2日付けで、県南部及び県西部を対象にセジロウンカの注意報を発表しました。詳細は、広島県HPに掲載の「平成24年度病害虫発生予察情報注意報第2号」をご確認ください。
(<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/24yosatsujyouhouitiran.html>)

病害虫名	発生量 (平年比)		防除上の注意事項										
	現況	予想*1											
穂いもち (中生品種)	【県東部】 穂いもち やや多	【南部】 並 【中部】 やや多	<ul style="list-style-type: none"> ・葉いもち発生ほ場で、上位葉に病斑が認められる場合は、穂ばらみ期の防除を徹底する。 ・出穂前後に曇雨天が予想される場合は、穂ばらみ期及び穂揃い期の防除を徹底する。 										
紋枯病 (中生品種)	【県東部】 少	【県東部】 少	<ul style="list-style-type: none"> ・要防除水準は、中生品種では、穂ばらみ期の発病株率20%以上である。 ・本病は、畦際での発生が多い傾向がある。要防除の判断にあたっては、ほ場の内側部分を含め調査する。 ・穂ばらみ期が高温多湿で経過すると病斑の上位進展が進み、被害程度が大きくなるので、注意する。 ・前年多発したほ場では、発生が多くなる傾向があるので注意する。 										
斑点米 カメムシ類 (中生品種)	【南部】 やや少	【県東部】 やや少	<ul style="list-style-type: none"> ■耕種的防除 <ul style="list-style-type: none"> ・畦畔等に出穂した雑草が繁茂している場合、水稲の出穂期近くになってからの草刈は、斑点米カメムシ類のイサ場を少なくし、逆にカメムシを水田内に追い込むことになるため、水稲出穂間際の草刈は控える。 ■農薬による防除 <ul style="list-style-type: none"> ・カスミカメムシ類の発生が主体の場合は、出穂期及びその10日後の間で計2回の防除を徹底する。 ・なお、こだわり米等で防除回数が1回に制限されている場合は、穂そろい期の防除を徹底する。 ・ホソハリカメムシ等の加害種が主体の場合は、出穂7日後～14日後の間で計2回防除する。なお、2回の防除実施後も本田で発生が散見される場合は、収穫期近くまで加害するので、追加防除を行う。 ・山際ほ場や畦畔等の雑草管理が不徹底なほ場では、斑点米カメムシ類の発生が多くなるので、発生状況に注意する。 ■要防除密度 <p>乳熟期の本田すくい取り調査による要防除の判断は下表を目安とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">着色粒混入率</th> <th colspan="2">要防除密度の目安*</th> </tr> <tr> <th>カスミカメムシ類</th> <th>ホソハリカメムシ類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2等以下への格下げ</td> <td>0.1%以上</td> <td>4頭以上</td> <td>2頭以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※捕虫網による20回振りすくい取り</p> 	項目	着色粒混入率	要防除密度の目安*		カスミカメムシ類	ホソハリカメムシ類	2等以下への格下げ	0.1%以上	4頭以上	2頭以上
	項目					着色粒混入率	要防除密度の目安*						
カスミカメムシ類		ホソハリカメムシ類											
2等以下への格下げ	0.1%以上	4頭以上	2頭以上										
【中部】 やや少													
セジロ ウンカ	【南部】 やや多 【中部】 やや多	【南部】 多 【中部】 やや多	「平成24年度病害虫発生予察情報注意報第2号」を参照する。										

病害虫名	発生量 (平年比)		防除上の注意事項
	現況	予想*1	
トビイロウンカ	[南部] 並	[南部] 並	<ul style="list-style-type: none"> ・要防除水準は、飛来後第2世代幼虫が株当たり5頭以上である。 ・7月12日に予察灯(福山市駅家町)で初飛来(1頭)を確認し、過去10年間で3番目に早い飛来であった。 ・予察田(福山市津之郷町)調査や巡回調査(南部)において発生はまだ確認されていないが、8月上旬に幼虫の発生が認められたほ場もあるので、注意する。

*1 予想は、次回予報時期(8月下旬)までの予想発生量を示す。

2 その他病害虫の発生状況

作物名	病害虫名	現況	備考
水稲 [南部]	コブノメイガ	少	・8月上旬~中旬に被害株率が20%を超える場合には、防除を行う。

3 予報の根拠

(1) 水稲(8月上旬調査)

ア. 穂もち

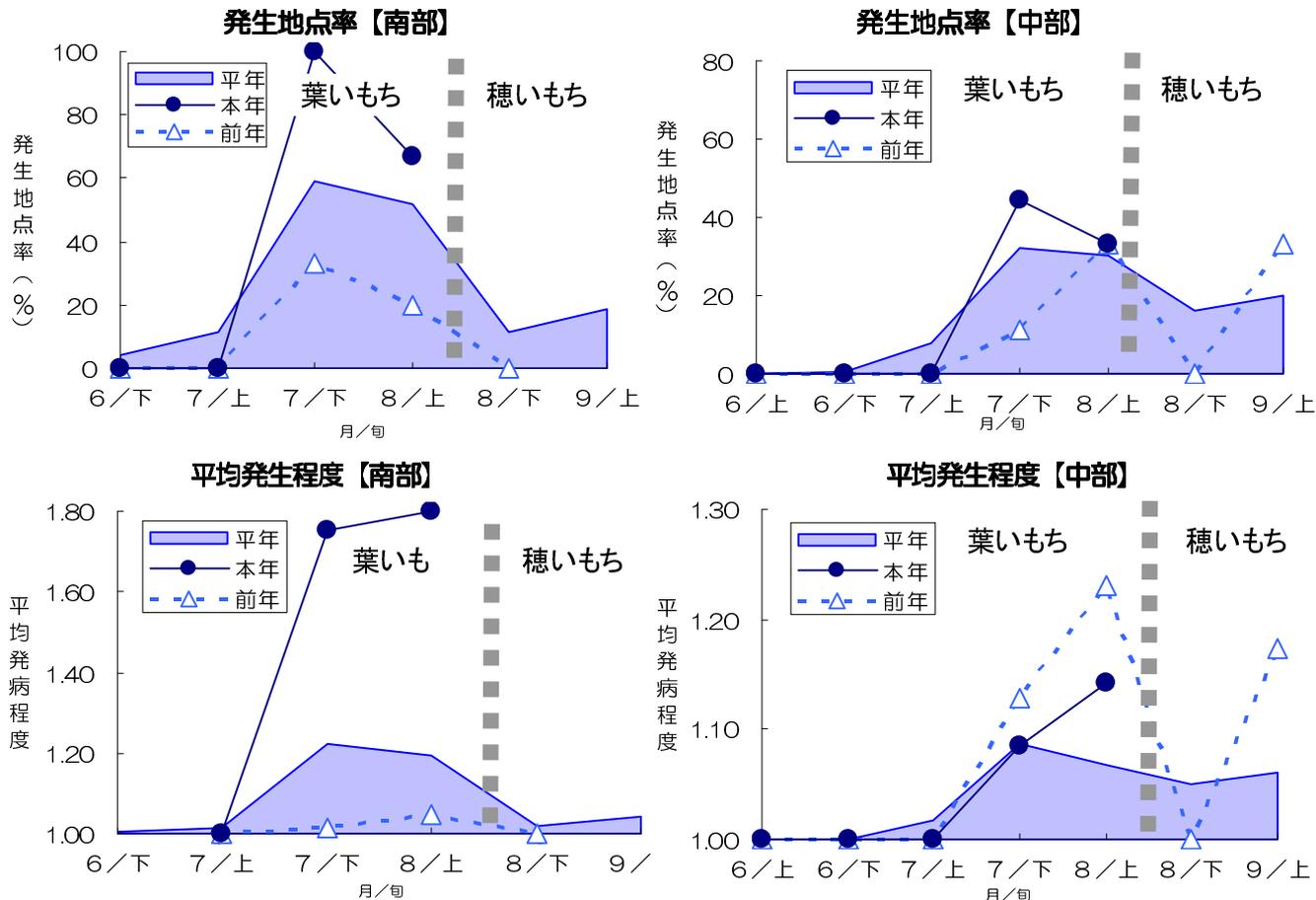
(ア) 葉いもちの巡回調査結果

南部、中部ともに平年に比べやや多い発生であった。

(イ) 今後の気象

向こう1か月は、平年と同様晴れの日が多く、気温は高い確率50%と予想されており、穂いもちの発生に好適ではない。

(ウ) 葉いもち調査結果の具体的な数値(グラフ)



イ. 紋枯病（中生品種）

(ア) 巡回調査結果

平年に比べ少ない発生であった。

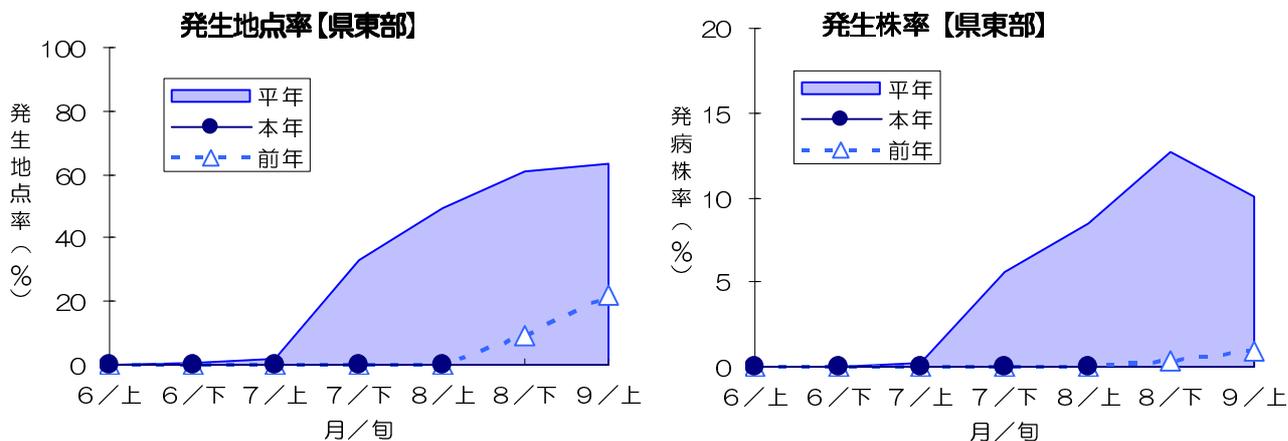
(イ) 今後の気象

向こう1か月の気温は、高い確率が50%と予想されている。

(ウ) 水稻生育状況

茎数は、平年並に推移している。

(エ) 調査結果の具体的数値（グラフ）



ウ. 斑点米カメムシ類

(ア) 8月上旬・本田すくい取り調査結果

(a) 南部地帯

カスミカメムシ類は、平年*2に比べやや少ない発生であった。

ホソハリカメムシ等その他加害種は、平年*2並の発生であった。

要防除密度ほ場率は37.5%で、過去7年と比較して3番目に低い状況であった。

*2 平年は、平成15年、平成19年、20年を除く過去7年（平成14～23年）のデータ比較による。

(b) 中部地帯

カスミカメムシ類は、平年並の発生であった。

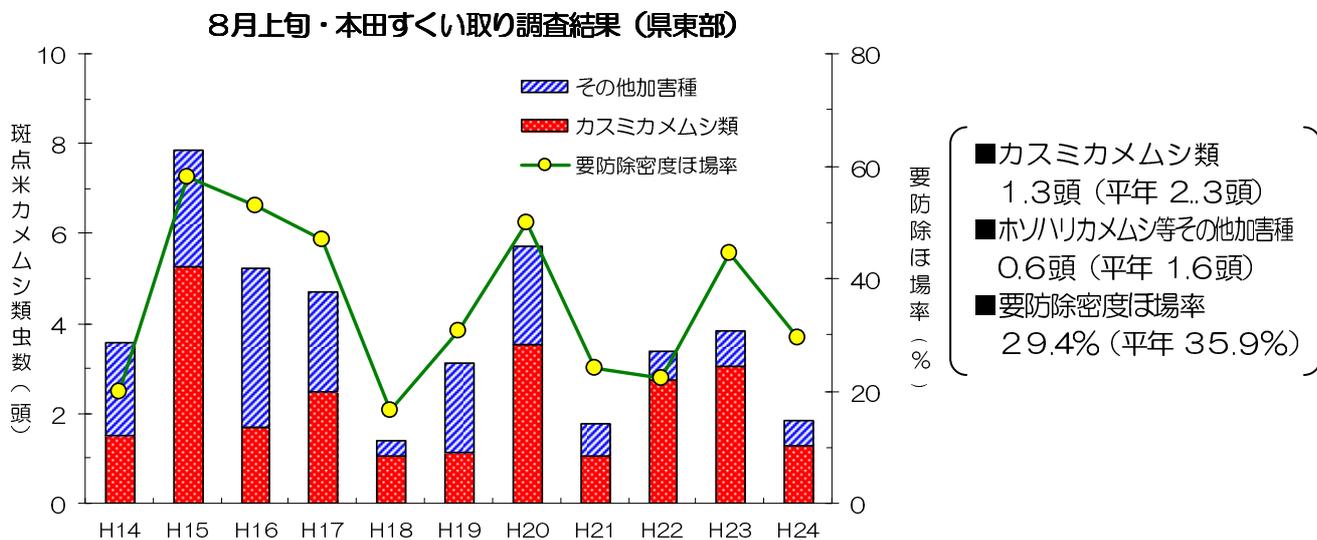
ホソハリカメムシ等その他加害種は、平年に比べ少ない発生であった。

要防除密度ほ場率は26.9%で、過去10年と比較して3番目に低い状況であった。

(イ) 今後の気象

向こう1か月の気温は、高い確率が50%と予想されている。

(ウ) 調査結果の具体的数値（グラフ）



※虫数は、捕虫網による20回振りすくい取りによる

エ. セジロウンカ

(ア) 南部地帯

8月上旬の巡回調査結果は、平年に比べやや多い発生であった。

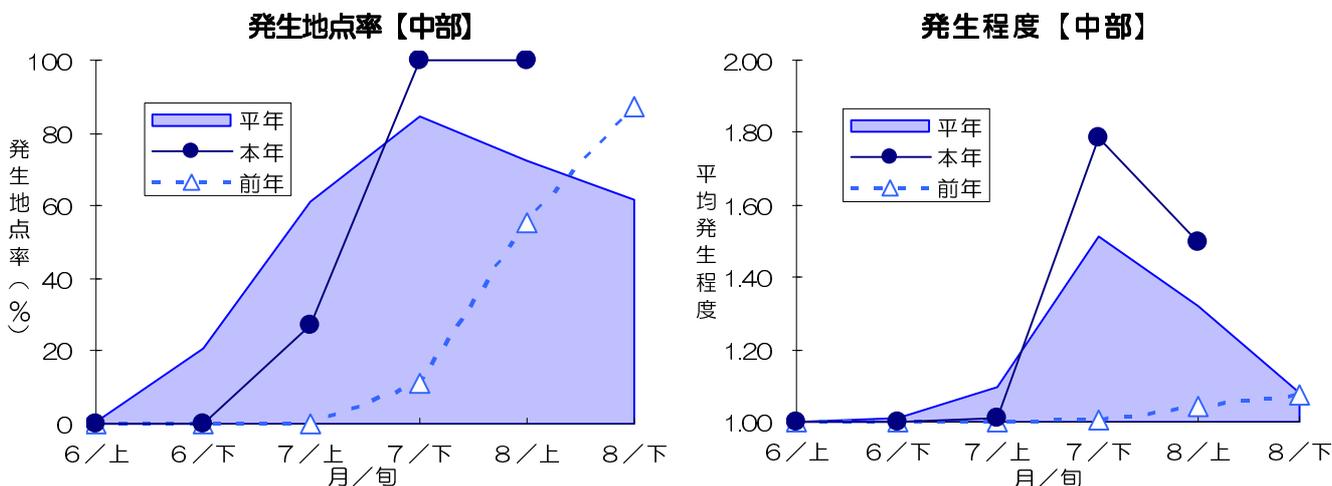
その他については、「平成24年度病害虫発生予察情報注意報第2号」を参照する。

(イ) 中部地帯

(a) 巡回調査結果

平年に比べやや多い発生であった。

(b) 調査結果の具体的数値 (グラフ)



オ. トビイロウンカ (南部)

(ア) 巡回調査結果

平年並の発生であった(発生なし)。

(イ) 予察田調査 (福山市津之郷町)

8月第2半旬までの調査で、発生は確認されていない。

(ウ) 予察灯調査 (福山市駅家町)

7月12日に予察灯へ1頭の誘殺が確認された。その後、7月16日(1頭)、17日(2頭)及び8月1日(1頭)に誘殺が確認された。

(エ) 今後の気象

向こう1か月の気温は、高い確率が50%と予想されている。

(2) その他病害虫の巡回調査等結果

作物名	病害虫名	地点率 (平年値*3)	被害株率 (平年値*3)	備考
水稲 【南部】	コブノメイガ	0% (67.5%)	0% (9.6%)	*3 平年値は、平成18年~20年を除く 過去7年(平成14年~23年)の平均

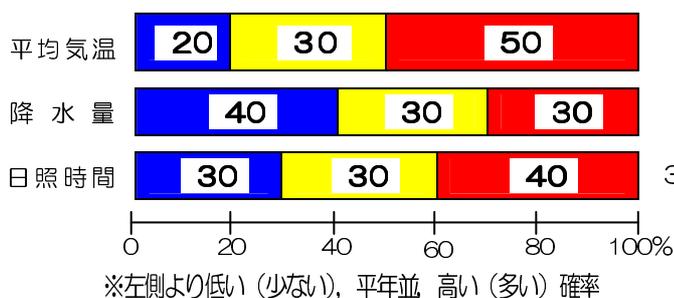
4 気象情報

■ 中国地方1か月予報（8月4日から9月3日）【広島地方気象台8月3日発表】

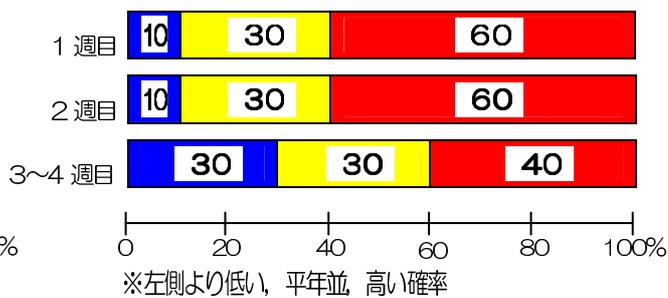
平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の気温は、高い確率50%です。週別の気温は、1週目は高い確率60%、2週目は高い確率60%です。

□向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間の各階級の確率(%)

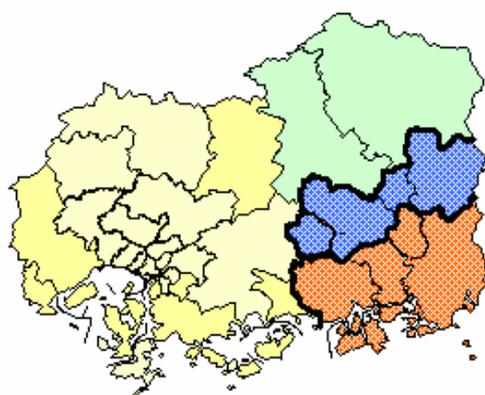


□向こう1か月の気温経過の各階級の確率(%)



5 情報にかかる用語説明等

(1) 地帯区分



地帯区分		該 当 市 町
県東部	中部	三原市久井町, 三原市大和町, 世羅町, 府中市上下町, 神石高原町
	南部	三原市 (久井町, 大和町を除く), 尾道市, 福山市, 府中市 (上下町を除く)

■ 東部農業技術指導所管内【中部地帯】

■ 東部農業技術指導所管内【南部地帯】

(2) 平 年 値

過去10年間（平成14年～平成23年）の平均値です。

(3) 予想発生量・現況

原則として過去10年の数値をもとに気象予報等を参考にして、本年の発生量がどの程度かによって次の5階級に区分して予報しています。

- 多 … 予想発生量が過去10年の最大値と同程度の場合を表します。
- やや多 … 予想発生量が過去10年の2～3番目に多い値と同程度の場合を表します。
- 並 … 予想発生量が過去10年の4～7番目に多い値と同程度の場合を表します。
- やや少 … 予想発生量が過去10年の2～3番目に少ない値と同程度の場合を表します。
- 少 … 予想発生量が過去10年の最小値と同程度の場合を表します。

予想発生量	多	やや多		並				やや少		少
過去10年間の値(多い順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

なお、現況欄についても予想発生量と同様の方法によって現時点の発生状況を5階級に区分し、表記しています。

(4) 平均発生(発病)程度【水稻いもち病, ウンカ類】

平均発生(発病)程度1.00は、発生(発病)が無く、数値が高くなるほど発生(発病)株が多くなり、株ごとの発生(発病)程度が甚だしいことを示します。

6 その他の情報**(1) 農薬危害防止運動の実施について**

広島県では6月1日から8月31日までの3か月間、農薬危害防止運動を実施しています。

農薬を使用する際は、使用基準を遵守すると共に周辺環境に注意し、ミツバチなどに被害が発生しないよう飛散防止に努めましょう。

また、農薬は鍵のかかる場所へ保管するなど、農薬による危害防止に努めてください。

なお、平成24年度農薬危害防止講習会は、全て終了しました。たくさんの御参加をいただき、ありがとうございました。

(2) 各種情報提供**■病害虫発生予察情報について**

病害虫発生予察調査データ(フェロモントラップ及び巡回調査データ)や広島県病害虫・雑草防除基準が掲載されています。適切な病害虫防除に活用してください。

掲載場所：広島県HP「病害虫防除」

([トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [しごと・産業](#) > [農林水産業](#) > [農業](#) > 病害虫防除)

【アドレス】 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/byougaicyuuboujyo.html>

■テレホンサービス

農業技術指導所(病害虫防除所)では、病害虫の発生状況をできるだけ速やかにお知らせするため、テレホンサービスを行っています。

気象条件により発生が大きく左右される病害虫や、ウンカ等の長距離移動性害虫の飛来状況などの情報収集に役立ててください。

地域	電話番号	対象市町
尾三・福山	082-429-3032	三原市, 尾道市, 福山市, 府中市, 神石高原町, 世羅町

■メールマガジン「ひろしま県 病害虫情報お知らせメール」の配信について

広島県では、携帯電話等のメール機能を活用した農作物病害虫等の情報配布サービスを行っています。広島県HP「病害虫防除」に記載の手順で登録していただき、現場指導等に活用してください。なお、詳しい内容は、広島県HP内の「病害虫防除」で確認してください(上記参照)。

掲載場所：広島県HP「ひろしま県病害虫情報お知らせメールの配信について」

([トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [しごと・産業](#) > [農林水産業](#) > [農業](#) > 病害虫発生予察情報)

【アドレス】 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/40948.pdf>

(3) 次回予察情報の発表予定

次回の病害虫発生予察情報(予報第10号)の発表予定は、8月下旬です。対象は、水稻、果樹カメムシ類です。

(4) 今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先

東部農業技術指導所 病害虫防除チーム(東部病害虫防除所)

【福山市三吉町一丁目1-1, 電話084-921-1311(内線3810・3811)】

7 病害虫図鑑

(1) 水稻を加害するウンカ類(短翅型雌成虫)

※短翅型雌成虫：羽が短く、長翅型に比べ多くの卵を産むので増殖能力が高い。



トビロウunka短翅型雌成虫

・脂ぎった特有の色をしている。



セジロウunka短翅型雌成虫

・頭部(両目の間の部分)が突出しており、顔が尖って見える。



ヒメトビウunka短翅型雌成虫

・両目の間の突出程度がセジロウunkaに比べ少ない。
・目のつき方がセジロウunkaに比べ横長(タレ目型)である。